〇新潟駅・外観

『新潟駅』と書かれた看板。

桜が舞っている。

〇同・新幹線ホーム

新幹線の出入り口に橋本由実（６）と橋本香織（３７）が立っている。

由実が持つ小さな布の鞄には『加藤由美』と書かれている。

ホームに加藤清（３８）。

由実「パパ、おしごと、ひとりでも、がんばってね」

加藤は驚き香織の顔を見る。

香織は首を横に振る。

ホームに発車のベルが鳴り響く。

由実は笑顔で手を振る。

〇走る新幹線

〇神社・境内

セミの声。

出店が並んでいる。

浴衣姿の由実と立花凛（６）が並んで歩いている。

由実が持つ布の鞄には『橋本由実』と書かれている、『橋本』の部分の下にはうっすらと残る『加藤』の文字。

凛「橋本さんは何が食べる？」

由実「私、ぽっぽ焼きが食べたい」

凛「何それ？　聞いたことないよ、変な名前―」

由実「嘘、知らないの？　ふにゃっとした棒みたいなやつで、甘くて美味しいの」

凛「見たことも聞いたこともないよー」

クスクスと笑う凛。

由実の前を見知らぬ親子（父と娘）が仲良さそうに通りすぎていく。

由実は出店を見渡す。

『たこ焼き』『串焼き』『りんご飴』のお店が並ぶ。

由実「そっか、ここにはないんだ」

由実は通り過ぎていった親子を見る。

鞄を持つ手に力がはいる。

由実は出店のほうに歩いていく。

由実「たこ焼き、１つください」

由実は力強く手を前に差し出す。